

令和元年度 基本事業評価シート (平成30年度実績評価)

政策 01 安全・安心に暮らせるまち
 施策 02 循環型社会の形成
 基本事業 02 再資源化への取組
 主管課： 生活環境課
 関係課：

1 基本事業の目的

対象 (誰, 何を対象としているか) 市民, 市内事業者	意図 (どのような状態にしたいのか) ごみの再資源化に積極的に取り組む。
---------------------------------	---

2 基本事業の成果状況 (意図の達成度を図る成果指標とその動向)

資源化率 (搬入量ベース) (%) 生活環境課					
基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
19.60	17.60	17.40	19.00	19.00	20.00
向上指針	上がると良い	(状況) 市内から排出されたごみ・資源物全体 (集団回収含む) における資源化率 (搬入量ベース) は, 平成30年度が17.4%となり, 前年度及び基準値を下回る結果となりました。 (原因) 缶・生ごみは微増したものの, 集団回収が48 t (5.3%)減少したため, 資源物全体で35 t (1.1%)減少し, また, ごみ分が4 t (約0.1%)増加したことで, 指標値は0.2ポイント下がりました。新聞・雑誌の発行量の減少や古紙類の抜き取り等の影響が要因の一つと思われる。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

集団回収に協力している又は取り組んでいる市民の割合 (%) 生活環境課					
基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
49.10	42.00	43.90	50.00	50.00	50.00
向上指針	上がると良い	(状況) 平成30年度指標値は前年度比で1.9ポイント増となっておりますが, 基準値からは6.1ポイント低い状況にあります。 (原因) 市が活動を助成する団体数は62団体で, 昨年度より1団体増加しましたが, 実施回数は582回と昨年度より6回減少し, 回収量も減少しました。また, アンケート結果から, 居住年数10年未満の方の参加率が30%台に留まっていることも原因の一つであり, 地域コミュニティとの関わりの希薄化も影響していると考えられます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

